



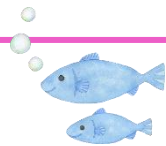
7月の園だより

梅雨明けが待ち遠しい季節となりました。梅雨が明けると本格的な夏の到来です。今月からプール遊びが始まります。おひさまの光を浴びて、キラキラ輝く水しぶきに大興奮する賑やかな子どもたちの姿を想像すると、これから毎日楽しみです。

そして夏といえは、子どもたちの五感が最も刺激される季節です。

冷たい水の感触、泥んこのぬくもり、ギラギラと照り付ける太陽、園庭で見つけるセミの抜け殻。大人が「これして遊ぼうね」と準備しなくても、子どもたちは自分で遊びを見つける天才です。

7月の予定



6日(月)	プール開き	15・16(水・木)	発育測定
7日(火)	七夕会	23日(木)	うめ組野外保育
8日(水)	パンの日	21～30日	保育参加期間
8日(水)	ばら組野外保育	28日(火)	誕生会
10日(金)	さくら組野外保育		

お知らせ

- 7月に開催予定の「保育参加」にご参加いただける保護者の皆様は、後日スケジュールなどに関する詳細を改めてご連絡させていただく予定です。よろしくお願いいたします。

- もも組担任の隈田原由香くまたばら ゆか（保育教諭）が一身上の都合により7月末日をもちまして退職することになりました。これまでの温かいご支援に心より感謝申し上げます。7月からは新しく入職いたします手代木可奈子てしろぎかなこ（保育教諭）がもも組の担任を引き継がさせていただきます。よろしくお願いいたします。





WAKUWAKU 健康タイム

6月は以上児クラスを対象に、2回にわたる WAKUWAKU 健康タイムを行いました。

第1回目：「うんちの種類と拭き方」

体の元気のパロメーターである「うんち」がテーマです。「バナナうんち」を目指すために、粘土でうんちを作り、体調が悪いときの違いを体感しました。

また、風船をお尻に見立てて、上手な拭き方のコツを練習しました。

第2回目：「上手な歯磨きをして虫歯予防をしよう！」

「虫歯になりやすい食べ物と虫歯になりにくい食べ物」についてクイズ形式で学びました。歯を守るための正しい磨き方や歯ブラシの持ち方に興味津々の子どもたちでした。

どちらの回も、自分の体への関心が高まる良い機会となりました。

ぜひ、ご家庭でも話題にしてみてくださいね。



先生たちもアップデート！視察研修

実は6月に、園長含め職員数名で、「子どもが主役の保育（主体的な保育）」を実践している園へ視察研修に行っていました。

なぜ、私たちがわざわざ足を運んで学んでいるのか。それはこれからの時代を生きる子どもたちに、「誰かに言われたからやる」のではなく、「自分で考えて、やってみて、失敗してもまた挑戦する力（生きる力）」をこの乳幼児期にたっぷりと培ってほしいと考えているからです。

研修先では熱心にメモを取る様子や、現場の保育士の方に積極的に質問をする先生たちの姿がありました。帰りの道中も意見交換が止まらないほど、たくさんの刺激とエネルギーをもらって帰ってきました。

学びをこれからの保育へ

園に戻ってからは、同行したメンバーを中心に、さっそく職員全体でミーティングを行いました。それから毎日のように学んだ知恵を我が園の保育にどう活かしていくか、熱い作戦会議を重ねています。

「教え込む」のではなく、「環境を整え、そっと支える」先生たちが学び続けることで、園の保育はもっと新しく、豊かになっていきます。

「学びの旅」は、今回だけで終わりません。今後も定期的に視察研修を続けていく計画です。これからも進化を続ける我が園の保育を、どうぞ温かく見守っていただければ幸いです。





夏を安全に乗り越えるために

- 衣服の調節と水分補給

汗をたくさんかきます。通気性・吸水性の良い服での登園をお願いいたします。
また、毎日水筒の準備をありがとうございます。こまめな水分補給ができるよう、水筒の準備を（中身の確認）をお願いいたします。

- 「休息」も大切なボリューム

夏の遊びは体力を激しく消耗します。園でも静かに過ごす時間やパーソナルスペースを大切にしていますが、ご家庭でもいつもより早めの就寝を心がけ、体を休ませてあげてください。

- 持ち物への記名

水遊びグッズ（水着、タオル、ラップタオルなど）が増えます。子どもたちが「自分のもの」と認識し、自分で準備や片付けに挑戦できるよう、すべての持ち物に大きく、分かりやすい記名をお願いいたします。

第4回目のコラムは♡



「好き」に熱中する力



何かに没頭する時間は宝物です。

虫取りでも、ブロックでも。自分の好きなことに時間を忘れて取り組む経験こそが、将来、自ら学び、自らを切り拓くエネルギーの原点になります。

心理学では、この時間を忘れて完全に没頭している状態を「フロー体験」と呼び、脳の発達や自ら学ぶ意欲を育てるうえでも最も価値のある時間だとされています。この「没頭する力」こそが、将来の集中力や粘り強さの根っこになります。

園での活動も、一斉に同じことをさせるのではなく、
一人ひとりの「好き」ととことん熱中できる時間と環境を大切にしています。

